

音楽科学習指導案

日 時 令和2年11月10日(火)5校時
 学 級 1年A組(21名)こすもすD組(1名)
 場 所 音楽室
 授業者 教諭 小椋久美子

- 1 題材名 さまざまな音楽文化～日本とアジア～
- 2 教材名 「日本とアジアをつなぐ音」(2/3)
- 3 目 標 声や楽器の音色、拍の表れ方やテクスチャなどから音楽の特徴を聴き取ろう。
- 4 学習活動の流れ

段階	時間	学 習 活 動	◇教師の指示 ●教師の支援 ◎形態 ★評価
課題設定	10	① 日本の八木節、江差追分の特徴を振り返る。 ② 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題 アジア地域の音楽の特徴を聴き取り、日本の表現と比べてみよう。 </div>	●前時に記入した学習プリントを参考にさせる。
課題解決	25	③ 聴き取るポイントを確認する。次の2つを視点とする。 「声の音色」 「拍や拍子」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 対話と思考 </div> ④ A、Bのどちらかを選び、聴き取った特徴をまとめる。 A：パンソリ(朝鮮半島) B：ホーミー(モンゴル)	◇伴奏楽器の形や奏法、演奏時の衣装など映像にも着目させる。 ◎★A、Bのどちらかを選び、特徴を聴き取りプリントに記述する。(個)
まとめ	15	⑤ 同じ選択をした3～4人のグループを作り、聴き取ったことを交流する。 ⑥ 聴き取った特徴を、紙に書き、ホワイトボードに貼る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習の成果 日本とアジア地域の表現を比較し、共通点を見つけられることができる。 </div>	◎同じ選択をした3～4人のグループで確認する。(複) ★全体で各グループの考えを交流し、他の視点の良さも含めて、思考の幅を広げる。(全) ★今回聴き取ったことを、日本の表現と比較し、共通点などをプリントに記入させる。(個) ★全体で確認する。(全) ★表現の特徴を聴き取ることができる。

5 本授業での「対話と思考」に係る構想

本題材は、朝鮮半島のパンソリ、モンゴルのホーミーを「声の音色」「拍や拍子」に着目し、聴き取ることで、日本とアジアのつながり、ルーツなどにも興味関心を広げられる学習と考える。

本授業では、アジアの音楽の特徴を聴き取り、日本の音楽表現と比較しながら共通点などを見つけ、交流する活動を通して、生徒の思考の幅を広げたい。